予算特別委員会（全体会） 記録

開 会 年 月 日	令和4年3月16日
開 会 時 刻	午前9時59分
散 会 時 刻	午前10時37分
出 席 委 員 名	◎北村 勝 ○西山則夫 三野泰嗣 川口 浩
	大西要一 宮崎 誠 久保 真 中村 功
	井村貴志 上村和生 楠木宏彦 鈴木豊司
	野崎隆太 吉井詩子 野口佳子 岡田善行
	福井輝夫 辻 孝記 吉岡勝裕 品川幸久
	藤原清史 浜口和久 宿 典泰
	世古 明 議長
欠 席 委 員 名	なし
署 名 者	三野泰嗣 川口 浩
担 当 書 記	森田晃司
審 査 案 件	議案第3号 令和4年度伊勢市一般会計予算外9件一括
説 明 員	市長 副市長 ほか関係参与

審査経過

北村委員長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、直ちに「議案第3号 令和4年度伊勢市一般会計予算外9件一括」を議題とし、各分科会会長からの審査報告の後、討論を行い、採決を行った。その後、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することで決定した。

なお、一括10議案の起立採決の結果、「議案第3号」については賛成多数、他の9議案についてはそれぞれ全会一致をもって原案どおり可決すべしと決定し、会議を閉会した。

なお、その詳細は以下のとおり。

開議 午前9時59分

◎北村勝委員長

ただいまから予算特別委員会の継続会議を開きます。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名は当初決定のとおりです。

それでは「議案第3号 令和4年度伊勢市一般会計予算外9件一括」を議題といたします。

お諮りいたします。

審査の方法については委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎北村勝委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

審査につきましては、議案について各分科会から報告をいただき、報告に対する質疑、討論、採決という形で進めたいと思いますので、よろしくお願いをします。

それでは、審査に入ります。

各分科会から報告をお願いいたします。

最初に産業建設分科会、上村会長からお願いいたします。

○上村和生産業建設分科会会長

産業建設分科会からの報告をさせていただきます。

去る2月28日の予算特別委員会において、産業建設分科会に割り振られました「議案第3号 令和4年度伊勢市一般会計予算」外5件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月3日及び4日に審査を行いました。

「議案第3号 令和4年度伊勢市一般会計予算」中、当分科会関係分、「議案第7号 令和4年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」、「議案第8号 令和4年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」、「議案第9号 令和4年度伊勢市土地取得特別会計予算」、「議案第11号 令和4年度伊勢市水道事業会計予算」及び「議案第12号 令和4年

度伊勢市下水道事業会計予算」は、それぞれ原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中、当分科会関係分のうち、労働費においては、雇用就労支援について、ホームページに肝心の参加企業の名前が出ていないため、改善を求める意見、女性や障がい者に対する就労支援について、幅広く事業を展開しているが、インターンシップによる企業とのマッチングが重要であるとの意見及び伊勢地域勤労者サービスセンター等に対する補助金について、行財政改革の視点で予算の見直しが必要であるとの意見、若者の就労支援について、情報収集・実態の把握を行い、若者の定住・就労につなげることを期待する意見がありました。

農林水産業費においては、食料自給率及びそれに係る予算編成について、ロシアのウクライナ侵攻による影響を懸念する意見、農作物のブランド化について、コロナ禍で県境をまたぐ移動の機会が減っているが、引き続き都市部への農産物のPRを期待する意見、担い手支援について、安心して就農ができるよう農業次世代人材投資資金等の継続的な支援を期待する意見、地産地消について、認定店の増加よりも市民が地産地消の意識を持ち、地元産を消費するかどうか大切であるとの意見、農地の中間管理について、担い手への農地集積・集約のためにさらなる事業の推進を期待する意見、排水機場について、地元が管理する現場の環境が十分でないことから、状況の改善を求める意見、獣害対策について、スマートフォンを利用した目撃情報報告システムにおいて、今後とも効率的に取組を継続することを求める意見及び猟友会に限らず関心を持つ幅広い層の資格取得の推進を期待する意見、森林経営管理について、長期の事業となることが想定されるため、将来を意識しスピード感を持って事業に取り組むことを求める意見及び竹やぶが繁茂している状況があることから、現場主義で臨機応変に対応することを期待する意見、漁港管理について、漁業の担い手のきっかけとなるよう漁港の有効活用を求める意見、漁業の環境改善について、他業種に比べて事業が少ない現状があることから、水産業の衰退を懸念する意見がありました。

商工費においては、消費生活センターについて、他市町とのネットワークを活用することで市民生活向上につなげることを期待する意見、住宅・店舗リフォーム等の促進について、コロナ禍で市民・事業者は困っていることから、状況に応じて柔軟に対応していくことを期待する意見、地域おこし協力隊について、協力隊員の専門知識を活用し、まちの活性化につなげることを期待する意見、商店街振興について、AIを活用した商店街の通行量調査について、取得したデータを活用した商店街発展に期待する意見、創業支援について、廃業を防ぐためにも事業者の動向に注視するよう求める意見及び創業者が利用しやすいメニューの検討を期待する意見、企業立地推進について、ITやサービス業等、ターゲットを明確にして取り組むことを期待する意見、工場等誘致について、コロナ禍で社会のあり方等が変わってきており、柔軟な対応を求める意見がありました。

観光費においては、安全安心な観光地づくりについて、観光地は内宮以外にもあることを考慮し、他の観光地にも取組を広げることを求める意見、お伊勢さんマラソンについて、楽しみにしている人が多い大会であるため、令和4年度は開催できることを期待する意見、MICE誘致について、伊勢市を主会場とする国際会議等をどのように応援していくか研

究を求める意見、観光行事振興について、コロナ禍で培った財産や経験を今後どう活かしていくかが大事であるとの意見がありました。

土木費においては、地籍調査について、調査が進んでいない現状を憂慮する意見及び近い将来に発生が予想されている震災から市民の財産を守るためにも内部で精査し、予算に反映することを期待する意見、道路整備について、待ち望む市民のためにも早期の完成を期待する意見及び道路整備プログラムによる路線改修が難しいことから、危険箇所等の部分的改修を提案する意見、橋梁の長寿命化について、計画と現状に差異が生じており、毎年議会に対しての報告を求める意見、通学路交通安全プログラムについて、保護者・生徒から出てくる要望を反映できるよう教育委員会との連携を期待する意見、河川改良について、小木川の護岸整備をスピード感を持って取り組むことを期待する意見、駅前市街地再開発事業について、再開発事業は1件当たりの補助金額が大きい、市民にとっては枠組みが分かりづらいため、丁寧な説明を求める意見、立地適正化計画について、市民が計画を理解しておらず、事業が進んでいないことを憂慮する意見、無電柱化の推進について、まちの魅力向上や電柱の倒壊防止のために事業のさらなる推進を期待する意見及び無電柱化の全体計画を示すことを求める意見、朝熊山麓公園について、多くの意見を参考にし遊具の選定を行うことを期待する意見、公園の長寿命化について、地元管理における負担があることから、市民の声を聴くことを求める意見がありました。

消防費においては、危機管理水位計等について、近隣住民の認知度が低いと指摘する意見がありました。

次に、特別会計でございますが、住宅新築資金等貸付事業特別会計においては、債権の管理を引き継いだ上で一般会計化してはと提案する意見、観光交通対策特別会計においては、収入に対して支出が多い状況を憂慮する意見がありました。

次に、企業会計でございますが、水道事業会計においては、将来的な人口減少・高齢化が想定されることから、収入が安定している間に事業の見直しを行い、将来的に水道料金を上げないことが大事であるとの意見、下水道事業会計においては、工事の繰越額が多く、単年度で審査できない状況を憂慮する意見、雨水処理対策について、下水道事業以上にスピード感を持って取り組むことを期待する意見がありました。

審査における主な意見としては、以上のとおりでございます。

以上、産業建設分科会からの報告といたします。

◎北村勝委員長

以上で産業建設分科会会長報告は終了いたしました。

これより産業建設分科会会長報告に対する質疑に入ります。御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎北村勝委員長

御発言もないようですので、以上で産業建設分科会会長報告に対する質疑を終わります。

次に、教育民生分科会、吉岡会長、お願いいたします。

○吉岡勝裕教育民生分科会会長

去る2月28日の予算特別委員会において、教育民生分科会に割り振られました「議案第3号 令和4年度伊勢市一般会計予算」外4件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月7日及び8日に審査を行いました。

「議案第3号 令和4年度伊勢市一般会計予算」中、当分科会関係分については、原案どおり可決することに多数が異議ないこと、「議案第4号 令和4年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」、「議案第5号 令和4年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」、「議案第6号 令和4年度伊勢市介護保険特別会計予算」及び「議案第10号 令和4年度伊勢市病院事業会計予算」は、それぞれ原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中、当分科会関係分のうち、民生費においては、伊勢市駅前保健福祉拠点施設について、ユニバーサルデザインに配慮した整備を求める意見及び利用者目線で使いやすい施設となるよう配慮を求める意見、新型コロナウイルス感染症等による自宅待機者への対応について、しっかりとした支援を求める意見、成年後見制度について、市民が学ぶ機会づくりを期待する意見、介護施設のあり方について、民間団体との連携強化を期待する意見、障がい者の就労について、企業と協力し、寄り添った支援を期待する意見、地域活動の担い手不足について、企業との地域貢献のマッチングを期待する意見、貧困対策について、各個人の現状を把握して住居確保等の支援を行い、住む場所を失うことがないように求める意見、高齢者外出支援モデル事業について、課を横断して誰もが利用しやすい施策を求める意見及び一部の地域だけではなく、全市的に利用できることを期待する意見並びに事業の検証を行い、高齢者の閉じこもり防止や介護予防につながる支援を期待する意見、子育て世帯への支援について、ゼロ歳児家庭が社会から孤立しないよう切れ目のない支援を期待する意見、貧困家庭への学習支援について、貧困の連鎖を断ち切るためにも、学びたい子供達がしっかりと学ぶことのできる体制づくりを期待する意見、多子世帯への支援について、親子3人乗り自転車購入補助制度のさらなる周知、補助率の改善及びレンタル自転車導入の検討を求める意見、子供の発達支援について、発達障がいの早期の発見と対応を期待する意見がありました。

衛生費においては、ゼロカーボンシティ宣言について、市民の理解を得るためにも早期に宣言されることを期待する意見、飼い主がいない猫対策について、TNR活動を通じた積極的な支援、地域との連携を求める意見及び飼い猫については、保健所とともに飼い主に適正飼育を求める意見、市民の健康増進について、啓発イベントの実施及びいせし健康体操の普及促進を求める意見、骨髄バンクドナー登録について、年齢制限もあることから積極的な啓発を求める意見、子宮頸がん予防ワクチン接種について、医師会との連携及びワクチン数量の確保を期待する意見、がん検診について、早期発見のためにも積極的な周知を期待する意見、AYA世代のがん患者支援について、在宅療養の助成制度創設の広報及びさらなる支援強化を求める意見、不妊治療費助成について、保険適用になったこともあり、医療機関の協力も得て積極的なアピールを期待する意見、きれいなまちづくり整備について、他市の事例も参考に周囲と調和した分煙環境整備を期待する意見、ごみの減量・資源化について、先進事例も参考に新たな方法の研究を期待する意見がありました。

消防費においては、避難行動要支援者制度の防災ささえあい名簿について、災害時に支援が必要な方が漏れることのないよう、地域の協力も得て、さらなる支援を期待する意見がありました。

教育費においては、いじめ防止対策について、思いやりのある豊かな社会を築き上げられることを期待する意見、食育推進について、子供たちのアレルギーや食べ残し対策にしっかりと取り組むことを求める意見、部活動について、部活動指導員の協力を得ることでさらなる充実に期待する意見、学校水泳プールについて、ティーム・ティーチングによる研究や今後のあり方の検討を期待する意見、読書活動について、子供達の努力や成果を認めていく指導を求める意見、不登校対策について、支援の強化を期待する意見、デジタル機器を活用した教育について、教員間のデジタルデバインド解消のための環境づくりを期待する意見、家庭教育への支援について、地域での保護者間の交流が大切であることから、各種団体への支援を求める意見、生涯学習について、高齢者に対するデジタル講座の充実に求める意見、青少年育成について、関係機関との連携や非行の未然防止に向けた取組の推進を期待する意見、歯科保健衛生指導について、他部署との連携強化を期待する意見、インクルーシブスポーツについて、健常者と障がい者が協力をし、安全な大会が実施できることを期待する意見、総合型地域スポーツクラブについて、新型コロナウイルス感染症の影響で減った参加者が増えるよう対策を期待する意見がありました。

なお、伊勢広域環境組合の新ごみ処理施設建設計画において、まだまだ曖昧な部分があり、市の負担金によって市民負担が増えることのないよう再考が必要であるとして、一般会計に反対の意思表示をする委員がみえたことを申し添えます。

次に、特別会計でございますが、国民健康保険特別会計において、低所得者及び子育て世帯の保険料負担について、市としての改善策を期待する意見、マイナンバーカードの健康保険証利用について、サービス充実のためにもさらなる普及促進を期待する意見がありました。

次に、企業会計でございますが、病院事業において、院内の情報セキュリティ対策について、予算と人材を確保し、しっかりとした対策を期待する意見、収支の改善について、新規施設基準を取得することで、医療の質の向上を期待する意見、看護職員の処遇改善措置が賃金に適正に反映されるよう期待する意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、教育民生分科会からの報告といたします。

◎北村勝委員長

以上で教育民生分科会会長報告は終了いたしました。

これより教育民生分科会会長報告に対する質疑に入ります。御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎北村勝委員長

御発言もないようですので、以上で教育民生分科会会長報告に対する質疑は終わります。

次に、総務政策分科会、品川会長、お願いいたします。

○品川幸久総務政策分科会会長

御報告申し上げます。

去る2月28日の予算特別委員会において、総務政策分科会に割り振られました「議案第3号 令和4年度伊勢市一般会計予算」につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月9日に審査を行いました。

「議案第3号 令和4年度伊勢市一般会計予算」中、当分科会関係分については、原案どおり可決することに異議ないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見といたしましては、一般会計予算中、当分科会関係分の歳出でございますが、総務費においては、土木・電気などの技術系職員、保健師・保育士などの専門職の職員採用の応募が伸び悩んでいることから、よりよい人材確保ができるよう工夫、研究を求める意見、職員研修について、ICT化、スマートシティの実現に向け、全ての所属において研修の実施を求める意見、デジタル化の推進について、RPA、AI-OCRなどの活用により、積極的に経費削減を進めることを期待する意見、スマートフォン教室等について、デジタルにたけた高校生が講師となることで、世代間交流となるようなシステムの構築を提案する意見、デジタル人材育成について、伊勢市デジタル推進体制の組織力を発揮し、全庁的な取組を期待する意見、シティプロモーションの推進について、各自治体での移住に関する情報が多くある中、伊勢に興味を持ち、情報を見てもらえるよう工夫を求める意見、ふるさと納税について、もう少し高い目標を持ち、寄附を伸ばす取組を求める意見、行財政改革の取組について、行財政改革プランの取組期間が今年度で終了するため、新年度初めには新たな取組に着手ができるよう求める意見、男女共同参画の推進について、市が実施する事業が、女性の活躍推進の妨げ、男性、あるいは女性が参加しにくい施策になっていないかなど確認を求める意見、学校跡地の活用について、サウンディング型市場調査に加えて、広く地域、住民の意見を聞き、今後のあり方について検討を求める意見及び施設類型別計画を早期に実行に移すことが肝要という意見、まちづくり協議会、自治会について、活動する方の高齢化、担い手不足などの課題に取り組み、活動がより活性化、活発化するよう求める意見及び小学校の統合により、まちづくり協議会の区割りを整理することになった際は、十分な話し合いを行い、よりよいものができるよう努力を求める意見、いせミライプロジェクト推進事業について、先進地を手本とし、緩く、楽しくできるものをつくり、シビックプライドの向上、将来の人づくりを望む意見、精神療養支援金について、犯罪被害者だけでなく、被害者の家族も精神的負担があることから、支給要件の検討を望む意見、性犯罪被害者の支援について、警察との連携だけでなく、医療との連携を深めることを求める意見、防犯カメラ設置推進事業について、事業執行途中で検証を行い、今後の取組の方向性の検討を求める意見がありました。

消防費においては、避難所施設へのWi-Fi整備について、有事の際、情報を得る有効な手段であるため、スムーズに使用できるよう整備を求める意見、賞味・消費期限を迎える備蓄物資について、無駄のないように活用を求める意見、酸素濃縮器、人工呼吸器などの備品について、必要な人の把握をした上で対策をすることが有効であるとの意見がありました。

教育費においては、文化案内板の設置について、文化財のPR、文化財保護の啓発につながることもあることから、整備の推進を求める意見がありました。

審査における主な意見としては、以上のとおりでございます。

以上、総務政策分科会からの報告といたします。

◎北村勝委員長

以上で総務政策分科会会長報告は終了いたしました。

これより総務政策分科会会長報告に対する質疑に入ります。御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎北村勝委員長

御発言もないようですので、以上で総務政策分科会会長報告に対する質疑を終わります。

これをもって各分科会会長報告及び質疑を終わらせていただきます。

続いて、総括質疑に入りますが、通告はありません。よって、これをもって総括質疑を終わります。

続いて、議案第3号外9件一括に対する討論を行います。討論はありませんか。

暫時休憩します。

休憩 午前10時30分

再開 午前10時30分

◎北村勝委員長

休憩を解き、会議を始めます。

楠木委員。

○楠木宏彦委員

ただいま提案されている案件のうち、「議案第3号 令和4年度伊勢市一般会計予算」について、日本共産党を代表して反対討論を行います。

第1に、会計年度任用職員の待遇について、ボーナスが国が示している基準を下回っているということについては、かねてから御指摘をさせていただいておりますけれども、このような点で処遇改善が見られていないというようなことで問題だと思います。

第2に、自衛隊適齢者名簿提供問題ですけれども、これについてもかねてから議論をさせていただいておりますけれども、個人情報による本人によるコントロール権、これが侵されているという点でプライバシー保護について適切に取り扱われていないのではないかとこの問題があると考えます。

第3に、新ごみ処理施設への分担金の投入ですけれども、この処理施設については、1番目にごみ発電という基本的な考え方に疑義があるのではないかと。その中でプラスチックごみ減量によって、売電による収入が減少する、こういった点についてきちんと推計されていない、説明されていないということ。

そして2番目に、施設運営経費の負担が増える計画になっておりますけれども、施設計画そのものを見直すことによって抑えられるのではないかっていうこと。

3番目には、地球温暖化、気候危機とどう戦うかという視点はごみ処理事業において大きな位置を占めます。国際的に協力して温室効果ガスを減らす取組が進んできており、さらにまた、今後急速に進んでいくと想定される中で、新施設はその動きに十分対応していないのではないかと。時代遅れの施設になってしまうおそれはないか、こういったことについて疑問を感じます。このような問題点を感じ、考えるならば、新施設建設に分担金を支出することは適切ではないと考えます。

主にこれらの点について、この予算案には問題があると考え反対討論といたします。

◎北村勝委員長

他にないようですので、以上で討論を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時34分

再開 午前10時34分

◎北村勝委員長

休憩を解き、会議を続けます。

ただいまから議案第3号外9件一括を採決いたします。

10件一括を議案のうち、まず、「議案第3号 令和4年度伊勢市一般会計予算」を採決いたします。

議案第3号について、原案どおり可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

[賛成者起立]

◎北村勝委員長

起立多数と認めます。

よって、「議案第3号 令和4年度伊勢市一般会計予算」は原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、議案第3号を除く9件について、原案どおり可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

[賛成者起立]

◎北村勝委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第4号 令和4年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」、「議案第5号 令和4年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」、「議案第6号 令和4年度伊勢市介護保険特別会計予算」、「議案第7号 令和4年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」、「議案第8号 令和4年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」、「議案第9号 令和4年度伊勢市土地取得特別会計予算」、「議案第10号 令和4年度伊勢市病院事業会

計予算」、「議案第11号 令和4年度伊勢市水道事業会計予算」、「議案第12号 令和4年度伊勢市下水道事業会計予算」、以上9件は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

以上で本委員会に審査付託を受けました案件の審査は終わりました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成については正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎北村勝委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で御協議いただきます案件は終わりました。

これをもちまして予算特別委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時37分

上記署名する。

令和4年3月16日

委員長

委員

委員